

行政改革推進委員会（R5.10.18 開催） 次期プランの方向性に関する意見

項目・視点	意見（要旨）
公共施設マネジメントについて	① 人口が減る、高齢化していく中で公共施設の望ましいあり方とは何か。施設を統合することによるサービスの低下が懸念され、市民の声も聞かなくてはならない。一方、効率化も決してあなどれない。長くかかるテーマであり次期プランでも取り上げる必要がある。 ② 公共施設をどうしていくのかについては、将来に向けてのコストを住民に提示し、住民に考えてもらい、議論をして理解を得た上で方針を決定していくことが大事になる。
二重行政について	① 例えば県と市で同じことをやっていないか。連携はとれているかなどの視点は必要である。
最新のトレンドやキーワードを計画に反映することについて。	① コロナ後の社会とは何か。少子高齢化、出生率の減少を踏まえてその後の社会をどうしていくのか。サステナビリティ（SDGs）関係の開示が企業では義務付けられてきており、環境問題そのものや、環境リスクを踏まえた企業戦略であるとか。また、人材の多様性であるとか人的資本に関する考え方などを反映できると、世情を捉えた計画になってよいのではないかな。 ② SDGsについて、今は形だけであっても、「この項目に該当しています。」みたいなものはよくあるので、次のプランの中では、項目毎で明示しながら項目立てしていくのも、世間の流れとして、見た目も良くなるのではないかな。
策定にあたって留意する事項	① 現プラン 2021 の取組期間中はコロナ禍があり、社会が大きく変わって私たちの価値観も変化した。今はそれがスタンダードになっていくということもあり、行政としてもコロナ前に戻るもの、コロナ禍を経て変化するものを整理して、次期プランに反映できるよう努めてほしい。 ② 目標指標について、数値目標として設定する場合、例えば4年間で「10」「10」「20」「20」という目標があり、3年間の実績が「0」「0」「35」となったとき、3年目は大幅に達成ということになるだろうが、計画期間でみたとき、本来3年目には「40」になっていないといけない点をどう評価するのか。件数、個数、割合といった数字で示す場合の評価をそれぞれどのような評価をして第2期をまとめるのかをしっかりと検討してほしい。